



全国クリーニング資材
卸商協同組合

〒101-0047
東京都千代田区内神田3丁目5番5号大同ビル6階
電話03(5295)0136 FAX03(5295)0130
発行人 船木春男 編集人 坂本吉敬

基本料金＋ブランドチャージ

ヘアケア発想のクリーニング

〈東京・南青山〉エッセンス

アフターコロナのクリーニング市場では、以前のよう「数量を追うのではなく、『いかに満足してもらえるか』が、次の利用につながる力ギとなるだろう。

「顧客から何も指摘がなくても、預かった品物は全品、毛玉とりやシミ抜きなど、必要と思われる」

南青山という超一等地に工場併設の店を構えるエッセンスクリーニング(株エッセンス)の吉田拓司社長(54)。

なお、エッセンスのホームページ(HP)の冒頭には、「ヘアケア発想のクリーニング、それはまるで上質なサロンのような仕上がり」とあるが、これは吉田社長が考えた文言で、HPも自分で作成したそうだ。

同社の売り上げの8割強は集配、それもほぼ定期集配で、顧客の大半は



▲取材中、若い男性が持ち込んだ品物をチェックする同店のスタッフ。4点で2万1000円になるという

ESSENCE THE ESSENCE OF CLEANING		
	PREMIUM	COUTURE
シャツ	1520～	4360～
ブラウス	2310～	4620～
スーツ	5290～	10580～
ジャケット	3380～	6770～
パンツ	2160～	4310～
スカート	2090～	4180～
セーター	2310～	5080～
カーディガン	2530～	5570～
ニット	2220～	4890～
ボレロ	2310～	5080～
ポンチョ	2640～	5810～
ワンピース	3920～	7840～
ドレス	6160～	12320～
T-シャツ	1650～	3300～
ポロシャツ	1850～	4070～

▲エッセンスの主なクリーニング料金。これは基本料金で、10%、20%等との“ブランドチャージ”がつく



◀▲東京・南青山という超一等地にあるエッセンス。奥には工場も

企業経営者か「士業」、あるいは芸能関係。料金に関しては2つのコースがあり、メインはシャツ1520円、ブラウス2310円、スーツ5290円が基本料金の「プレミアム」。しかし、同社に集まる品物はほぼブランド品で、基本料金の10%、20%等との「ブランドチャージ」があるため、基本料金で



▲お店のロゴやHPも自分で作ったという吉田拓司社長。休日も工場で作業する「職人」でもある



「バッグや毛皮等の依頼も増加。それらも『ほぼ外注は使わない』とのこと。ちなみにこの中には、記者のこれまでの取材経験の中でも有数の高額品が！」

「2021年度は120%、22年度は130%と、コロナ禍でも売り上げは大きく伸長。その一方、銀座のママなど離れてしまったお客もおり、「客数は増えていない」が、既存客からの紹介や、同社を利用したインフルエンサーがSNSでその仕事ぶりを紹介すると、翌日に30件ものメールが送られてくるなど、顧客の顔ぶれは少しずつ変化。yにさかのぼると、2011年に同所に店を構えた時と今の顧客は、ほぼ入れ替わっているようだ。この点は、都心ならではと言えそうだ。

客数は増えていなくても、売り上げが伸びているのは、点数や単価が伸び



「2021年度は120%、22年度は130%と、コロナ禍でも売り上げは大きく伸長。その一方、銀座のママなど離れてしまったお客もおり、「客数は増えていない」が、既存客からの紹介や、同社を利用したインフルエンサーがSNSでその仕事ぶりを紹介すると、翌日に30件ものメールが送られてくるなど、顧客の顔ぶれは少しずつ変化。yにさかのぼると、2011年に同所に店を構えた時と今の顧客は、ほぼ入れ替わっているようだ。この点は、都心ならではと言えそうだ。

客数は増えていなくても、売り上げが伸び

キレイになるのなら」とれたことはなく、もっと値段に関して何か言わと高くしても良かった



▲▼高級感ただよう店内。カウンターは広々としており、入口には毛皮のディスプレイも

